

全テーマ通年配信

## 基礎習得コース

1テーマ約15分

自信をもってケアをするために、看護の現場に必要な「キホンのキ」を身につけよう！



コード	セッション名・テーマ名	コード	セッション名・テーマ名
AA2601	安全な喀痰吸引のための基礎知識 ～患者にとって苦痛の少ないケアを実践しよう～	AA2606	きょうから始めるキャリアデザ！ ～なりたい自分をイメージしよう～
AA2601-a	痰が出るしくみ	AA2606-a	どうしていまからキャリアデザイン？ <span>キャリア開発</span>
AA2601-b	吸引の前にできること～体位ドレナージと呼吸助法～	AA2606-b	看護師のキャリアのリスクポイント <span>キャリア開発</span>
AA2601-c	吸引すべきか判断するためのアセスメント	AA2606-c	看護師の色々なキャリアを知ろう <span>キャリア開発</span>
AA2601-d	苦痛の少ないケアをふまえた吸引の手順と注意点	AA2606-d	看護師であることに疲れたときのご自愛法 <span>キャリア開発</span>
AA2602	膀胱留置カテーテル管理 ～感染を起こさないための第一歩～	AA2607	「人生の物語」から始まる、高齢患者の心を開く 共感コミュニケーション
AA2602-a	膀胱留置カテーテルとは <span>感染対策</span>	AA2607-a	人生の先輩世代を知ろう
AA2602-b	カテーテル関連尿路感染を防ぐには <span>感染対策</span>	AA2607-b	高齢患者の困りごとを知ろう
AA2602-c	安全なカテーテル挿入の手法 <span>感染対策</span>	AA2607-c	一歩先を考えられるコミュニケーション
AA2602-d	カテーテル留置中の患者の観察ポイント <span>感染対策</span>	AA2607-d	こんなときどうする？ ～言葉につまるシチュエーションでの対応法～
AA2603	患者の尊厳を守るエンド・オブ・ライフケア ～エビデンスをふまえて自信をもってケアできる～	AA2608	私のキャリアストーリー構築 ～成長するための看護現場学入門～
AA2603-a	エンド・オブ・ライフの基礎知識 <span>がん看護倫理</span>	AA2608-a	なぜ私は、看護師という職業を選んだのだろう？ ～職業選択の動機から看護観へ～ <span>キャリア開発</span>
AA2603-b	臨死期を迎える身体の変化と求められる看護の視点 <span>がん看護倫理</span>	AA2608-b	忘れられない患者の記憶を振り返り、概念化をしてみよう <span>キャリア開発</span>
AA2603-c	看取りの場での家族支援とグリーフケア <span>がん看護倫理</span>	AA2608-c	あなたがこだわる看護の領域は何か？ ～概念化に挑戦してみよう～ <span>キャリア開発</span>
AA2603-d	エンゼルケア (死後処置) の目的と基本的な流れ <span>がん看護倫理</span>	AA2608-d	あなたが大切にしたい看護とは？ ～言語化し、チームで共有しよう～ <span>キャリア開発</span>
AA2604	転倒・転落防止から学ぶ医療安全ファーストステップ	AA2651	実践！ アセスメント力を高める フィジカルイグザミネーション
AA2604-a	医療安全から考える療養環境の整備 <span>医療安全</span>	AA2651-a	フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメントの基本
AA2604-b	患者を尊重した転倒・転落防止の考え方 <span>医療安全</span>	AA2651-b	フィジカルイグザミネーション：呼吸器系
AA2604-c	転倒・転落が起きやすい患者と状況 <span>医療安全</span>	AA2651-c	フィジカルイグザミネーション：循環器系
AA2604-d	実例から学ぶ転倒・転落防止対策と発生時の対応 <span>医療安全</span>	AA2651-d	フィジカルイグザミネーション：脳神経系
AA2605	もうアワアワしない！ 安全・確実な輸血投与のキホンのキ	AA2652	できる新人になるための輸液ポンプ・シリンジポンプ 取り扱い心得
AA2605-a	血液製剤の基礎	AA2652-a	輸液ポンプの基本 <span>医療安全 IVナース</span>
AA2605-b	輸血の準備と実施	AA2652-b	シリンジポンプの基本 <span>医療安全 IVナース</span>
AA2605-c	輸血の副反応への対策	AA2652-c	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法 <span>医療安全 IVナース</span>
AA2605-d	多職種で取り組む輸血療法	AA2652-d	輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味と その対応 <span>医療安全 IVナース</span>

コード	セッション名・テーマ名
AA2653	やさしく学ぶ疼痛管理～痛みを和らげるのは何のため？～
AA2653-a	いちばん知ってほしい！患者にとっての「痛み」とは何？ <small>IVナース がん看護</small>
AA2653-b	疼痛緩和に最も重要なアセスメントを知る <small>IVナース がん看護</small>
AA2653-c	疼痛緩和に用いるさまざまな薬を知る <small>IVナース がん看護</small>
AA2653-d	薬以外でも痛みは和らぐ！看護師だからこそできるケア <small>IVナース がん看護</small>
AA2654	多重課題の波を乗りこなせ ～チームワークを円滑にする整理術・連携術～
AA2654-a	多重課題とは <small>医療安全</small>
AA2654-b	あなたがとりがちな多重課題発生時の対応 <small>医療安全</small>
AA2654-c	多重課題に対応するための方法 ～優先順位を考えるためのヒント～ <small>医療安全</small>
AA2654-d	チームで多重課題に対応するために必要なこと ～コミュニケーションのポイント～ <small>医療安全</small>
AA2655	五感フル活用！バイタルサインからどう判断するか
AA2655-a	酸素化を見極める
AA2655-b	バイタルサインのとらえ方と活かし方
AA2655-c	バイタルサインで迅速診断！ ～いま起きていることを見極める～
AA2655-d	バイタルサインで急変予測！ ～これから起きることを見逃さない～
AA2656	はじめての褥瘡ケア～予防・発見・悪化防止の基礎知識～
AA2656-a	褥瘡の基礎知識 ～発生機序と好発部位～
AA2656-b	褥瘡のリスクアセスメント
AA2656-c	褥瘡と皮膚障害の鑑別
AA2656-d	看護師が求められる褥瘡ケア
AA2657	できる新人がおさえておきたい薬物管理の基本
AA2657-a	安全な薬物管理のための大原則 ～6つのRightを確認しよう～ <small>医療安全</small>
AA2657-b	看護師が知っておきたい「クスリ」の「リスク」 <small>医療安全</small>
AA2657-c	投薬の流れと看護師の役割 <small>医療安全</small>
AA2657-d	安全な投薬のためのコミュニケーション <small>医療安全</small>
AA2658	心電図のいろは
AA2658-a	心電図の基本
AA2658-b	心電図の波形の基礎知識
AA2658-c	日常でよくみる不整脈
AA2658-d	危険な不整脈への対応方法
AA2659	基礎から学ぶ人工呼吸器の扱い方 ～苦手意識をもたないために～
AA2659-a	人工呼吸器の基本知識 <small>医療安全</small>
AA2659-b	人工呼吸器装着時の看護ケア <small>医療安全</small>
AA2659-c	人工呼吸器のアラーム対応 <small>医療安全</small>
AA2659-d	挿管・抜管時の準備と介助 <small>医療安全</small>

コード	セッション名・テーマ名
AA2660	もう得意！実践に強くなる静脈ルート確保・採血
AA2660-a	静脈穿刺の注意点 ～解剖学的知識を身につけよう～ <small>医療安全 IVナース</small>
AA2660-b	さあ、どこに穿刺する？ ～穿刺箇所の選定と穿刺までの流れ～ <small>医療安全 IVナース</small>
AA2660-c	静脈ルート確保の手技と注意点 <small>医療安全 IVナース</small>
AA2660-d	採血の手技と注意点 <small>医療安全 IVナース</small>
AA2661	もう平気！実践に強くなる筋肉内注射・皮下注射・皮内注射
AA2661-a	色々な注射法 <small>医療安全 IVナース</small>
AA2661-b	筋肉内注射の穿刺部位 <small>医療安全 IVナース</small>
AA2661-c	筋肉内注射の手技と注意点 <small>医療安全 IVナース</small>
AA2661-d	皮下注射・皮内注射の手技と注意点 <small>医療安全 IVナース</small>
AA2662	初めての急変対応 ～チームの一員として知っておくこと、やるべきこと～
AA2662-a	急変とはなんですか？
AA2662-b	急変を見抜く観察のポイント
AA2662-c	急変発生時のあなたの行動
AA2662-d	心肺蘇生のパフォーマンスを上げるポイント
AA2663	はじめにおさえておきたい看護記録の心得
AA2663-a	看護記録に対するマインドセット
AA2663-b	看護記録の意義と適切性の基本
AA2663-c	適切な看護記録の記載 ～SOAP形式を例に～
AA2663-d	事例で学ぶ看護実践を保証する看護記録
AA2664	安全・安楽な食事介助について理解しよう！
AA2664-a	摂食嚥下のプロセスについて
AA2664-b	食事介助に潜むリスク ～誤嚥・窒息の予防～
AA2664-c	食事介助の基本 ～適切な準備と介助方法～
AA2664-d	食事形態の調整と段階的アップの必要性
AA2665	看護のコア～変わらないもの、変わるもの～
AA2665-a	歴史からひも解く看護の歩み
AA2665-b	近年の日本社会の変化と看護の役割・機能
AA2665-c	レジェンドから学ぶ看護のコア
AA2665-d	看護の専門性と自律性の追求

コード	セッション名・テーマ名
AA2666	夜勤独り立ちへの心構え
AA2666-a	夜勤の看護業務とは ～日勤との違い～
AA2666-b	夜勤で求められる実践力
AA2666-c	夜間に起こりがちな患者対応
AA2666-d	夜勤で体調を崩さないために
AA2667	新人看護師の1日～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～
AA2667-a	新人看護師の1日 ～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～
AA2668	続く！ はかどる！ 社会人の勉強法
AA2668-a	続く！ はかどる！ 社会人の勉強法
AA2669	自分の考え方のクセを知ろう
AA2669-a	自分の考え方のクセを知ろう

認知症患者・家族の課題への対処を学び、高齢者ケアにおける看護実践能力の向上をめざす



コード	セッション名・テーマ名	コード	セッション名・テーマ名
BDA2601	<事故防止編>認知症ケアの現場で起こりやすい医療事故を予防するための工夫と対応	BDA2656	<看護編2 事例動画>治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント
BDA2601-a	認知症ケアの現場における転倒・骨折予防の医療安全上のリスクと考え方 <span style="float:right">医療安全</span>	BDA2656-a	会話がかみ合わない場面での対応方法
BDA2601-b	認知症ケアの現場で起きやすい転倒・骨折事故とその対策～排泄・痛み・せん妄に関連した転倒～ <span style="float:right">医療安全</span>	BDA2656-b	対応に困る場面でのかわり方
BDA2601-c	事故予防のための工夫とポイント <span style="float:right">医療安全</span>	BDA2656-c	認知症の人の尊厳を損なう対応
BDA2602	<倫理編>認知症ケアにおける看護倫理	BDB2601	事例にみる二次性骨折の予防
BDA2602-a	認知症ケアにおける看護倫理の基礎知識 <span style="float:right">倫理</span>	BDB2601-a	二次性骨折の基礎知識と発生要因の理解
BDA2602-b	認知症ケアの現場における倫理的課題と意思決定支援 <span style="float:right">倫理</span>	BDB2601-b	骨折リエゾンサービスと骨粗鬆症リエゾンサービス
BDA2602-c	倫理的視点からみる認知症ケアの未来 <span style="float:right">倫理</span>	BDB2601-c	二次性骨折予防継続管理加算の概要と取り組み
BDA2651	<医学編1>認知症にみる原因疾患とその症状・治療法	BDB2602	メンタルヘルスの観点からみる高齢者ケア～医療職に求められるアプローチ～
BDA2651-a	認知症の主な症状	BDB2602-a	高齢者のメンタルヘルス課題と理解
BDA2651-b	認知症の主な原因疾患	BDB2602-b	医療職に求められる高齢者のメンタルヘルスケアの実践
BDA2651-c	認知症の治療方法 ～薬物療法・非薬物療法～	BDB2602-c	高齢者の尊厳を守るケアをするために
BDA2652	<医学編2>事例から学ぶ認知症とせん妄	BDB2603	高齢者の慢性疾患の重症化予防を考える～糖尿病編～
BDA2652-a	認知症とせん妄の違い	BDB2603-a	高齢の糖尿病患者の特徴と重症化リスクの理解
BDA2652-b	行動・心理症状 (BPSD)	BDB2603-b	重症化予防のためのセルフケアへの支援
BDA2652-c	事例にみるケアのポイント	BDB2603-c	重症化予防のための多職種協働
BDA2653	<看護編1>治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア	BDB2604	高齢者のQOD (死の質) を高める終末期ケア
BDA2653-a	認知症の人にかかわるための基本的な考え方	BDB2604-a	QODの概念と高齢者終末期ケアの現状
BDA2653-b	認知機能障害を把握するためのポイント	BDB2604-b	高齢者のニーズに応えた終末期ケアの実践
BDA2653-c	認知機能障害に伴う日常生活動作への支障を把握するためのポイント	BDB2604-c	認知症高齢者の「QOD」を高めるために必要な手立て
BDA2654	<看護編1 事例動画>治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア	BDB2651	サルコペニア・フレイル予防のために看護師ができること
BDA2654-a	治療を受ける認知症の人との対応場面でのアセスメント	BDB2651-a	サルコペニア・フレイルとは
BDA2654-b	期待する行動をしてもらえない場面でのアセスメント	BDB2651-b	栄養面から考える看護ケア
BDA2654-c	生活障害のアセスメント ～食事の場面～	BDB2651-c	運動面から考える看護ケア
BDA2655	<看護編2>治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント	BDB2652	看護師が知っておきたい食事介助の心得
BDA2655-a	認知症の人とのコミュニケーションの原則	BDB2652-a	摂食嚥下障害にかかわる看護ケア
BDA2655-b	認知症の人とのコミュニケーション上の留意点	BDB2652-b	食事介助の観察項目
BDA2655-c	療養環境調整のポイント	BDB2652-c	食事介助における事故事例
		BDB2653	ADL低下につながる高齢者の脳卒中
		BDB2653-a	高齢者に多い脳卒中
		BDB2653-b	脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア～迅速な治療につなげるために～
		BDB2653-c	脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア～再発防止のポイント～
		BDB2654	高齢者の褥瘡形成の特徴
		BDB2654-a	高齢者に多い褥瘡の特徴とリスクアセスメント
		BDB2654-b	褥瘡予防のための基本的看護ケア～ポジショニング・スキンケア・栄養管理～
		BDB2654-c	褥瘡発生後の創傷観察と基本的看護ケア

他職種を知り、自らの専門性を再発見する



コード	セッション名・テーマ名	コード	セッション名・テーマ名
FAA2601	患者の継続的支援に向けた多職種連携 ～栄養療法と運動療法を効果的にサポートする方法～	FAA2651	早期離床・早期退院に向けたチームでの取り組み
FAA2601-a	多職種連携が患者の継続的支援に与える影響	FAA2651-a	早期離床・早期退院の重要性
FAA2601-b	栄養・運動サポートにおける各職種の役割	FAA2651-b	早期離床・早期退院に向けた各職種の役割
FAA2601-c	事例：多職種連携で行う心不全患者への栄養療法と運動療法の実際	FAA2651-c	チームで行う早期離床に向けた介入
FAA2602	日本の生活 ～日本の病院で働き始めたみなさんのために～	FAA2652	「リハビリテーション・栄養・口腔管理」の一体的取り組みの 進め方～実践事例からヒントを得よう～
FAA2602-a	病院で出会う人が大切にしていること	FAA2652-a	入院早期にリハビリテーション・栄養・口腔管理を 一体的に行うことの重要性
FAA2602-b	病院で出会う人とのコミュニケーション	FAA2652-b	リハビリテーション・栄養・口腔管理を 多職種でやってみよう！
FAA2602-c	こんなときどうしましょう	FAA2652-c	事例：リハビリテーション・栄養・口腔管理の 一体的取り組みの実際
FAA2603	多職種が専門性を発揮する身体的拘束最少化 ～リハ職の視点から～	FAA2653	多職種ロールプレイをやってみよう～身体的拘束防止編～
FAA2603-a	リハ職からみた身体的拘束のジレンマ	FAA2653-a	多職種ロールプレイって何？
FAA2603-b	各職種による評価・アプローチの強み	FAA2653-b	多職種ロールプレイに必要なこと
FAA2603-c	リハ職と協働する身体的拘束最小化へのチームアプローチ	FAA2653-c	やってみよう！多職種ロールプレイ ～身体的拘束事例をもとに考えてみよう～
FAA2604	多職種ガチンコトーク！～普段どんなこと思ってる？～	FAA2654	教えてPTさん！腰にやさしく患者さんに負担をかけない 移乗方法
FAA2604-a	多職種ガチンコトーク！ ～普段どんなこと思ってる？～	FAA2654-a	本当に大丈夫？その移乗
		FAA2654-b	移乗の動きを分析しよう
		FAA2654-c	これでカンペキ！移乗の実践
		FAA2655	ADLの維持・向上のために看護師ができること ～ICFの考え方からパーセルインデックス (BI) まで～
		FAA2655-a	ADLを測る必要性とは
		FAA2655-b	国際生活機能分類 (ICF) の考え方 ～背景因子を含めた共通言語としての役割～
		FAA2655-c	パーセルインデックス (BI) の活用 ～ADL測定指標を知り活用する～
		FAA2655-d	事例：チームで取り組むADL向上 ～情報共有と工夫～
		FAA2656	急性期から在宅までの効果的な口腔ケアと医科歯科連携 ～多職種連携による包括的なアプローチ～
		FAA2656-a	口腔の健康維持の重要性
		FAA2656-b	高齢者の口腔ケアの現状と課題
		FAA2656-c	医科歯科連携で取り組む口腔ケア
		FAA2656-d	事例：多職種で取り組む口腔ケア

コード	セッション名・テーマ名
FAB2601	患者の暮らしを整える！ 医療ソーシャルワーカーとの連携
FAB2601-a	患者の暮らしを整える！ 医療ソーシャルワーカーとの連携 <small>多職種連携</small>
FAB2602	円滑な連携で生命を守る！ 病院救急救命士との連携
FAB2602-a	円滑な連携で生命を守る！ 病院救急救命士との連携 <small>多職種連携</small>

コード	セッション名・テーマ名
FAB2651	チーム力を底上げする！ 薬剤師との連携
FAB2651-a	チーム力を底上げする！ 薬剤師との連携 <small>多職種連携</small>
FAB2652	患者の生きる力を支える！ 管理栄養士との連携
FAB2652-a	患者の生きる力を支える！ 管理栄養士との連携 <small>多職種連携</small>
FAB2653	地域の健康を守る！ 保健師との連携
FAB2653-a	地域の健康を守る！ 保健師との連携 <small>多職種連携</small>
FAB2654	患者の自立支援につなげる！ 理学療法士との連携
FAB2654-a	患者の自立支援につなげる！ 理学療法士との連携 <small>多職種連携</small>
FAB2655	患者のADLを高める！ 作業療法士との連携
FAB2655-a	患者のADLを高める！ 作業療法士との連携 <small>多職種連携</small>
FAB2656	患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携
FAB2656-a	患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携 <small>多職種連携</small>
FAB2657	患者の望む暮らしを支える！ ケアマネジャーとの連携
FAB2657-a	患者の望む暮らしを支える！ ケアマネジャーとの連携 <small>多職種連携</small>
FAB2658	健康的な暮らしの基本をつくる！ 歯科衛生士との連携
FAB2658-a	健康的な暮らしの基本をつくる！ 歯科衛生士との連携 <small>多職種連携</small>
FAB2659	暮らしのなかでもてる力を発揮する！ 介護福祉士との連携
FAB2659-a	暮らしのなかでもてる力を発揮する！ 介護福祉士との連携 <small>多職種連携</small>

# チェック動画ライブラリ

テストなし

ワークなし

「知りたい」のきっかけになるチェック動画がいつでも視聴可能！



コード	カテゴリ	テーマ名
MV0100-a	与薬 (輸液ポンプ・シリンジポンプ)	輸液ポンプ・シリンジポンプ
MV0200-a	感染対策	あなたの手はきれいですか
MV0200-b		手指消毒
MV0200-c		手洗い
MV0200-d		嘔吐物・排泄物の処理方法
MV0200-e		個人防護具の着用方法
MV0200-f		個人防護具のはずし方
MV0200-g		咳エチケット
MV0300-a	救急救命処置 (急変対応)	前日の患者との会話から予測 (良い例・悪い例)
MV0300-b		急変患者の気づき
MV0300-c		急変患者発見時の対応
MV0400-a	社会人基礎力 (接遇)	クレーム対応
MV0400-b		ことばの伝え方
MV0400-c		挨拶のポイント
MV0400-d		お悩み解決ラボ ～コミュニケーション編～
MV0400-e		お悩み解決ラボ ～感情のコントロール編～

コード	カテゴリ	テーマ名
MV0500-a	医療安全 (アンガーマネジメント)	怒っている人がいたら
MV0500-b		場所の優劣
MV0500-c		距離を取る
MV0500-d		それぞれの場面で
MV0600-a	チーム医療 (多職種カンファレンス)	共有編 (よくない例・よい例)
MV0600-b		基本編 (よくない例・よい例)
MV0600-c		実践編 (よくない例・よい例)
MV0700-a	呼吸	咳嗽の介助
MV0700-b		呼吸介助法～臥位～
MV0700-c		呼吸介助法～座位～
MV0700-d		ハフィング～座位～
MV0700-e		口鼻腔吸引
MV0700-f		閉鎖式吸引
MV0800-a	注射・採血	静脈血採血
MV0800-b		筋肉内注射
MV0800-c		皮下注射
MV0800-d		静脈注射
MV0900-a	シミュレーション教育	急変対応シミュレーション
MV0900-b		接遇シミュレーション

リスクへの感性を磨き、チーム一丸となって医療安全の精度を高める



コード	セッション名・テーマ名	コード	セッション名・テーマ名
CA2601	患者との対話をもたらす医療安全	CA2651	医療安全文化の醸成～現在の課題を原点に戻って考えよう～
CA2601-a	患者との対話で相互理解を深め実現する医療安全 <span style="float: right;">医療安全</span>	CA2651-a	医療を取り巻く現状と安全の課題 <span style="float: right;">医療安全</span>
CA2601-b	多職種で取り組む 診断関連エラー予防の考え方 <span style="float: right;">医療安全</span>	CA2651-b	医療安全文化を醸成するための考え方 ～医療安全文化の理解～ <span style="float: right;">医療安全</span>
CA2601-c	患者と医療者の対話プロセスが 医療訴訟リスクの低減につながる <span style="float: right;">医療安全</span>	CA2652	組織の医療安全文化を支えるインシデントレポートと 報告書管理体制を知ろう！
CA2602	医療事故をしきみで防ぐ ～ヒューマンエラーは避けられない～	CA2652-a	インシデントレポートが医療安全文化になぜ必要か <span style="float: right;">医療安全</span>
CA2602-a	ヒューマンエラーはなぜ起こるか <span style="float: right;">医療安全</span>	CA2652-b	事例から得た教訓をいかに改善につなげるか <span style="float: right;">医療安全</span>
CA2602-b	ヒューマンエラーを軽減するには <span style="float: right;">医療安全</span>	CA2653	形骸化させない！ 安全確保につながる確認業務
CA2602-c	エラー報告を責めない組織文化の醸成 <span style="float: right;">医療安全</span>	CA2653-a	確認業務を確実に実施するために <span style="float: right;">医療安全</span>
		CA2653-b	効果的なダブルチェックを実施するために <span style="float: right;">医療安全</span>
		CA2654	医療安全文化醸成のための感性を磨く ～TeamSTEPPS®・5Sのすすめ～
		CA2654-a	チーム医療における5Sの意味を考えよう <span style="float: right;">医療安全</span>
		CA2654-b	TeamSTEPPS®の理解 <span style="float: right;">医療安全</span>
		CA2699	動画で実践！ みんなで取り組むKYT！ ～KYT事例動画アーカイブ～
		CA2699-a	動画で実践！ みんなで取り組むKYT！ ～KYT事例動画アーカイブ～ <span style="float: right;">医療安全</span>

基本の徹底が感染対策の肝！ あなたはできていますか？ 正しい感染予防対策



コード	セッション名・テーマ名	コード	セッション名・テーマ名
CB2601	感染対策ベストプラクティス 感染経路のいまと予防策の基本	CB2651	アウトブレイクを回避しよう ～注意すべき感染症とその対策～
CB2601-a	感染対策の基本 ～標準予防策を理解しよう～	CB2651-a	注意すべき感染症の動向 ～麻疹・風疹など～
CB2601-b	感染経路の基本	CB2651-b	注意すべき感染症への対応策
CB2601-c	感染経路別対策の基本	CB2651-c	ワクチンを有効に活用するために
CB2602	感染対策ベストプラクティス ノロウイルス感染症対策	CB2652	抗菌薬使用の実際と適正使用
CB2602-a	ノロウイルス感染症の基本と食中毒の動向	CB2652-a	抗菌薬投与の基本 ～患者モニタリング～
CB2602-b	ノロウイルス感染症の予防	CB2652-b	抗菌薬投与の基本 ～敗血症について～
CB2602-c	ノロウイルス感染症への対策	CB2652-c	抗菌薬の適正使用
CB2603	感染対策ベストプラクティス 季節性インフルエンザ・ 新型コロナウイルス感染症	CB2652-d	薬剤耐性 (AMR) 対策に必要な実践上の注意点
CB2603-a	季節性インフルエンザウイルス感染症の基本と動向		
CB2603-b	新型コロナウイルス感染症のいま ～5類感染症になって～		
CB2603-c	インパウンドの増加による感染症への備え		
CB2604	医療従事者として知っておきたい薬剤耐性菌の基本と対策		
CB2604-a	薬剤耐性菌の基本		
CB2604-b	薬剤耐性菌の近年の動向と注意すべき薬剤耐性菌		
CB2604-c	薬剤耐性菌の院内感染対策		
CB2604-d	アウトブレイク発生時の対応		
CB2605	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露を未然に防ぐ！ 安心・安全を 確保するための対策		
CB2605-a	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露の現状		
CB2605-b	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露を防止するための対策		
CB2605-c	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露による感染リスクと 発生時の対応		

多様化する時代のなかで立ち止まり、考え続けるあなたのために



コード	セッション名・テーマ名
CD2601	臨床倫理概論
CD2601-a	臨床倫理とは <span style="float: right;">倫理</span>
CD2601-b	倫理的アプローチの方法 <span style="float: right;">倫理</span>
CD2601-c	明日から臨床倫理を活かそう <span style="float: right;">倫理</span>
CD2602	みんなで考える！ 倫理カンファレンス
CD2602-a	倫理カンファレンスとは <span style="float: right;">倫理</span>
CD2602-b	倫理カンファレンスの進め方 <span style="float: right;">倫理</span>
CD2602-c	倫理コンサルテーションへの相談 ～困ったときには頼りにしよう～ <span style="float: right;">倫理</span>
CD2603	日々のケアに活かす看護職の倫理綱領 ～倫理的感受性を育む～
CD2603-a	倫理的な迷いと向き合う ～看護職の倫理綱領が支える実践～ <span style="float: right;">倫理</span>
CD2603-b	看護職の倫理綱領を読み解く ～16項目に込められた看護の視点～ <span style="float: right;">倫理</span>
CD2603-c	明日からの看護に活かす ～倫理的実践へのステップ～ <span style="float: right;">倫理</span>

コード	セッション名・テーマ名
CD2651	臨床倫理実践～患者の幸福をナラティブから見つけ出す～
CD2651-a	みんなで支えるACP ～患者の尊厳から～ <span style="float: right;">倫理</span>
CD2651-b	患者の幸福を考えるためのナラティブ ～スキルとナラティブの二刀流～ <span style="float: right;">倫理</span>
CD2651-c	事例でみるナラティブ ～患者の幸福を共同著作する～ <span style="float: right;">倫理</span>
CD2652	看護職のための倫理 ～人生の最終段階における意思決定を支える～
CD2652-a	人生の最終段階における意思決定とは？ <span style="float: right;">倫理</span>
CD2652-b	人生の最終段階にある患者を支えるためにどうするか <span style="float: right;">倫理</span>
CD2652-c	事例から考える 意思決定を支えるためのポイント <span style="float: right;">倫理</span>

非常時でも切れ目のない医療体制提供のための備えと、心構えを学ぶ



コード	セッション名・テーマ名
CH2601	災害時の要配慮者をケアするために知っておきたいこと
CH2601-a	医療や薬の提供が滞らない支援のために
CH2601-b	安全な避難に必要な地域連携の実際
CH2601-c	避難所における支援体制の構築

コード	セッション名・テーマ名
CH2651	知見から学ぶ水害対策タイムライン防災計画
CH2651-a	水害の特徴とその対策の考え方
CH2651-b	自施設の浸水リスクをいかに把握するか
CH2651-c	水害タイムライン防災計画の必要性
CH2652	実効性のあるBCPを策定・運用するための考え方
CH2652-a	なぜ医療機関にBCPが必要なのか
CH2652-b	感染症型、災害型BCPそれぞれのポイント
CH2652-c	BCPを絵に描いた餅にしないために必要なこと
CH2653	災害に負けない病院づくりのポイント ～実際の災害事例に学ぶ有事への備え～
CH2653-a	医療機関が抱えている災害リスク
CH2653-b	地域全体で考える医療防災
CH2653-c	災害に負けない体制づくり ～事例に学ぶ災害時医療のいろは～

職員一丸となり施設全体のレベルアップをめざすためのまなびをサポート



コード	セッション名・テーマ名		コード	セッション名・テーマ名	
CJ2601	診療用放射線の正しい取り扱いと安全管理		CJ2651	医療現場で求められるLGBTQ+への理解と支援 ～すべての人が受けやすい医療をめざして～	
CJ2601-a	診療用放射線の基本知識と理解	医療安全	CJ2651-a	性的マイノリティとSOGIについて知る	
CJ2601-b	診療用放射線の安全な取り扱いとわかりやすい患者説明の実践	医療安全	CJ2651-b	セクシュアリティ(性のあり方)と医療現場での課題	
CJ2601-c	放射線障害が生じた場合の対応	医療安全	CJ2651-c	すべてのSOGIが受けやすい医療のために	
CJ2602	組織で取り組むハラスメント対策		CJ2652	医療者として知っておきたい「患者の権利」 ～相互理解のためのコミュニケーション～	
CJ2602-a	医療現場におけるハラスメントの理解と問題点		CJ2652-a	「知る権利」と患者の現状 ～ICからSDMへ～	
CJ2602-b	ハラスメントを起こさないためのコミュニケーション・指導法		CJ2652-b	患者のプライバシーを守るために	
CJ2602-c	ハラスメントのない施設をめざすための組織づくり		CJ2652-c	患者・医療者がともに理解しあうための対応	
CJ2603	医薬品副作用被害救済制度のしくみと理解のポイント		CJ2653	医療従事者が知っておきたいヤングケアラー支援	
CJ2603-a	制度の目的としくみ		CJ2653-a	ヤングケアラーとは	地域包括ケア
CJ2603-b	制度に該当する重篤な副作用		CJ2653-b	ヤングケアラーの特徴を知る	地域包括ケア
CJ2603-c	制度の適切な活用のために		CJ2653-c	ヤングケアラー支援に必要な 多職種・他機関連携での支援	地域包括ケア
CJ2604	多職種で取り組む身体拘束最小化のための実践のポイント		CJ2654	医療従事者が知っておくべき身体拘束最小化の考え方	
CJ2604-a	身体拘束の基礎知識と倫理的課題	医療安全	CJ2654-a	身体拘束の必要性と廃止・防止の取組み	医療安全
CJ2604-b	身体拘束最小化を実現するための具体的なアプローチ	医療安全	CJ2654-b	身体拘束の基準と手続き	医療安全
CJ2604-c	身体拘束最小化を施設全体で取り組むために	医療安全	CJ2654-c	事例で学ぶ身体拘束廃止・防止	医療安全
CJ2605	児童虐待のない未来へ ～医療スタッフのための予防と介入戦略～		CJ2655	医療ガスの安全管理にかかわる基本的な考え方	
CJ2605-a	児童虐待の理解と医療スタッフに求められる役割		CJ2655-a	医療用ガスボンベの基本 ～酸素ボンベの正しい取り扱い方の知識～	医療安全
CJ2605-b	児童虐待の予防と早期発見のためのスキルとアプローチ		CJ2655-b	医療ガスの配管設備の基本 ～配管の知っておくべき知識～	医療安全
CJ2605-c	被害児童への支援と地域社会との連携		CJ2655-c	医療ガスのリスクとヒヤリハット事例	医療安全
CJ2606	児童・思春期の心理的特徴を学ぶ		CJ2656	意識を変える！医療機関のサイバーセキュリティ	
CJ2606-a	児童・思春期の心理的発達とその特徴		CJ2656-a	身近に迫るサイバー攻撃のリスク	
CJ2606-b	児童・思春期の心理的支援における医療スタッフの役割		CJ2656-b	私たちにできるサイバーセキュリティ対策	
			CJ2656-c	サイバーセキュリティの意識を高めるために	
CJ2607	医療機関が取り組むカスタマーハラスメント対策 ～組織全体で現場を守る～		CJ2657	高齢者虐待のとらえ方と対応	
CJ2607-a	はじめに	テストなし ワークなし	CJ2657-a	高齢者虐待の定義と通報義務	医療安全
CJ2607-b	実情	テストなし ワークなし	CJ2657-b	高齢者虐待の実態	医療安全
CJ2607-c	法律・指針等	テストなし ワークなし	CJ2657-c	高齢者虐待防止に向けた対応	医療安全
CJ2607-d	組織での対応	テストなし ワークなし			
CJ2607-e	事例演習	テストなし ワークなし	CJ2658	障害者虐待のとらえ方と対応	
			CJ2658-a	障害者虐待の定義と通報義務 ～重症心身障害を中心に～	医療安全
			CJ2658-b	障害者虐待の実態 ～重症心身障害を中心に～	医療安全
			CJ2658-c	障害者虐待防止に向けた対応 ～重症心身障害を中心に～	医療安全

医療に携わる社会人として知っておくべき「キホンのキ」



コード	セッション名・テーマ名	コード	セッション名・テーマ名
CK2601	医療機関で必要なネットリテラシー ～潜在的な危険を理解し上手に使う～	CK2656	医療職のためのメンタルヘルスマネジメント
CK2601-a	医療機関でのネット利用の基本を知ろう	CK2656-a	医療職の特性からみるメンタルヘルス
CK2601-b	発信者も見えないネット社会の落とし穴 ～「無意識の情報漏洩」への対策～	CK2656-b	メンタルヘルスを意識した日々の暮らし
CK2601-c	炎上事例から学ぶSNSの使い方	CK2656-c	良好な職場環境とメンタルヘルス
CK2602	誰でも必要な医療機関における聴く力 ～話を「聴」くってどういうこと？～	CK2657	働き方改革につなげる多職種連携のあり方
CK2602-a	あなたは本当に人の話を「聴」けていますか？ ～日々の小さな積み重ねが重要～	CK2657-a	医療従事者に必要な多職種連携とは
CK2602-b	「聴き」方を知る ～「聴く」ためにはがまんが必要！？～	CK2657-b	多職種連携が機能するために
CK2602-c	「聴く」テクニック ～これだけをマスターしたら安心？！～	CK2657-c	多職種連携でのかかわり方
CK2651	あいさつからはじまる接遇マナー	CK2658	電話・メールの基本マナー ～社会人としてのファースト・ステップ～
CK2651-a	信頼関係を築く医療接遇のあり方	CK2658-a	新医療人としてのビジネスマナー：電話編
CK2651-b	医療現場にさまざまな影響をもたらす「あいさつ」の チカラ	CK2658-b	新医療人としてのビジネスマナー：メール編
CK2652	クレーム対応～二次クレームを予防するために～	CK2658-c	ビジネスマナーを実践するとは
CK2652-a	これだけは知っておきたいクレーム対応		
CK2652-b	二次クレームを予防する心得		
CK2652-c	動画で学ぶ電話対応		
CK2653	働きがい向上のためのキャリアプランを立てよう		
CK2653-a	やりがい感の源・自己資源を把握する <span style="float: right;">キャリア開発</span>		
CK2653-b	組織とのコミットメントを考える <span style="float: right;">キャリア開発</span>		
CK2653-c	キャリアプランを立てる <span style="float: right;">キャリア開発</span>		
CK2654	組織の活性化と職員自身の成長につながる コミュニケーションの力！		
CK2654-a	医療機関のコミュニケーションの特徴は？		
CK2654-b	コミュニケーションをとるのはなぜ難しい？		
CK2654-c	組織力を高めるコミュニケーションとは？		
CK2655	よくわかる個人情報保護の基本と取り扱い方～医療現場編～		
CK2655-a	個人情報保護とは何か		
CK2655-b	個人情報保護に対する基本的な考え、取り組み		
CK2655-c	個人情報の取り扱いについて		

スタッフ一人ひとりが知っておきたい、診療報酬の基本から改定の重要ポイントまで徹底解説！

◆コース新設◆

コード	セッション名・テーマ名
4 月 開 始	CI2601 ここから始める診療報酬入門
	CI2601-a 私たちのケアと診療報酬
	CI2601-b 診療報酬のしくみ
	CI2601-c 診療報酬改定が描く医療のカタチ

コード	セッション名・テーマ名
7 月 開 始	CI2602 どう変わる？ 令和8年度診療報酬改定～主な改定のポイントと現場での対応～
	CI2602-a テーマはコレ！ 令和8年度診療報酬改定
	CI2602-b Q&Aで押さえる！ 令和8年度診療報酬改定のポイント①
	CI2602-c Q&Aで押さえる！ 令和8年度診療報酬改定のポイント②
	CI2603 看護部全員で理解し実践へつなげる！ 令和8年度診療報酬改定のポイント
	CI2603-a 看護部全員が理解しておきたいポイント①
	CI2603-b 看護部全員が理解しておきたいポイント②
	CI2603-c 看護部全員が理解しておきたいポイント③
	CI2604 医療・介護・福祉の連携で地域へ～来る2040年を見据えて～
	CI2604-a 介護保険と医療、どうかかわる？
	CI2604-b 介護報酬の機能と役割
	CI2604-c 医療・介護・福祉の連携で地域をつくる～来る2040年を見据えて～

## ■ 看護技術チェックコース

### 充実の195テーマ

新人看護職員研修ガイドラインに沿い、準備・実践・記録まで学べるベーシック編

カテゴリ	テーマ名		動画再生時間
環境調整技術	病室の環境調整		03:47
	ベッドメイキング		11:44
	臥床患者のシーツ交換		07:39
食事援助技術	間接的嚥下訓練 (嚥下体操) <b>3DCG</b>	間接的嚥下訓練 (嚥下体操)	06:26
		3DCG : 間接的嚥下訓練 (舌の運動・構音訓練)	01:28
	間接的嚥下訓練 (アイスマッサージ)		03:24
	安全な食事介助のための準備		06:58
	食事介助		03:02
	経鼻胃管の挿入 <b>3DCG</b>	経鼻胃管の挿入	04:28
		3DCG : 経鼻胃管の挿入	00:58
	経鼻胃管からの栄養法		03:24
	胃ろうからの栄養法		04:06
	腸ろうからの栄養法		2月2日公開
	経腸栄養ポンプ : アプリックス スマート		03:26
	経腸栄養ポンプ : カンガルーポンプ		03:36
	経腸栄養ポンプ : ネオフィードENポンプ		02:43
	経腸栄養ポンプ : アミカ		03:46
排泄援助技術	臥床患者の排尿援助		10:27
	臥床患者の排便援助		11:30
	導尿 <b>3DCG</b>	導尿 (介助者がいる場合)	06:36
		導尿 (介助者がいない場合)	07:00
		3DCG : 導尿 (女性器)	01:03
		3DCG : 導尿 (男性器)	01:01
	膀胱留置カテーテルの挿入 <b>3DCG</b>	膀胱留置カテーテルの挿入	09:09
		膀胱留置カテーテルの挿入 (介助者がいない場合)	10:16
		3DCG : 膀胱留置カテーテル (女性器)	01:26
		3DCG : 膀胱留置カテーテル (男性器)	01:18
	膀胱留置カテーテルの管理		—
	膀胱留置カテーテルの抜去		06:18
腎ろう留置中の患者の管理		—	
浣腸 (グリセリン浣腸) <b>3DCG</b>	浣腸 (グリセリン浣腸)	05:09	
	3DCG : 浣腸 (グリセリン浣腸)	01:23	
摘便		04:07	
活動・休息援助技術	歩行介助	補助具なしで歩行可能な場合	01:44
		杖を使用する場合	02:08
		歩行器を使用する場合	03:09
	車いすへの移乗		03:52
	車いすでの移送		02:24

カテゴリ	テーマ名	動画再生時間	
活動・休息援助技術	ストレッチャーへの移乗	ストレッチャーへの移乗	03:48
		ストレッチャーからの移乗	03:12
	ストレッチャーでの移送		02:02
	チューブ類の取り扱い（移乗の場合）	車いすへの移乗の場合	05:02
		ストレッチャーへの移乗の場合	06:11
	良肢位の保持（仰臥位）		—
	体位変換（左右の移動）		03:09
	体位変換（上下の移動）		03:41
	体位変換（仰臥位から側臥位）		03:10
	体位変換（仰臥位からのセミファウラー位）		—
	体位変換（仰臥位から端坐位）		02:00
	チューブ類の取り扱い（体位変換の場合）	仰臥位から側臥位の場合	02:26
		仰臥位から端坐位の場合	02:22
	筋力トレーニングを中心とした廃用症候群予防		08:28
	関節可動域訓練（上肢）		08:33
	関節可動域訓練（下肢）		09:11
	入眠・睡眠の援助		—
	体動・移動に注意が必要な患者への援助（認知症患者の場合）		—
清潔・衣生活援助技術	全身清拭		11:40
	洗髪（ベッド上で行う場合）		07:10
	洗髪（洗髪台を使用する場合）		—
	口腔ケア（非挿管患者の場合）		07:06
	口腔ケア（挿管患者の場合）		14:37
	入浴介助		10:36
	シャワー浴介助		08:38
	陰部洗浄		11:44
	陰部洗浄（膀胱留置カテーテル挿入患者）		13:37
	手浴		07:05
	足浴	坐位で行う場合	06:08
		仰臥位で膝立てができる患者の場合	03:19
		仰臥位で膝立てができない患者の場合	02:47
		シャボンラッピングを行う場合	03:07
	おむつ交換		05:28
	寝衣交換		08:47
	チューブ類の取り扱い（寝衣交換の場合）		11:20
	整容		—
爪切り		—	
フットケア		—	
呼吸・循環を整える技術	鼻カニューラによる酸素吸入		04:03
	簡易酸素マスクによる酸素吸入		04:46
	リザーバ付き酸素マスクによる酸素吸入		04:57
	ベンチュリマスクによる酸素吸入		05:23

カテゴリ	テーマ名		動画再生時間	
呼吸・循環を整える技術	ネブライザー機能付き酸素吸入器による酸素吸入		06:02	
	高流量鼻カニューラ（HFNC）酸素療法		04:32	
	非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）		2月2日公開	
	酸素ボンベからの酸素吸入		01:02	
	口腔内・鼻腔内吸引	3DCG	口腔内・鼻腔内吸引	02:21
			3DCG：口腔内吸引	00:49
	気管切開患者の開放式吸引	3DCG	気管切開患者の開放式吸引	02:15
			3DCG：気管切開患者の開放式吸引	02:49
	挿管患者の開放式吸引		2月2日改訂	
	挿管患者の閉鎖式吸引		2月2日改訂	
	人工呼吸器の準備		—	
	人工呼吸器の管理－1.人工呼吸器と気道の管理		—	
	人工呼吸器の管理－2.患者の観察		03:09	
	人工呼吸器の管理－3.日常のケア		—	
	人工呼吸器の管理－4.アラーム対応		06:56	
	ジェットネブライザーの実施		06:28	
	超音波ネブライザーの実施		—	
	人工呼吸器の回路交換		—	
	体位ドレナージ	3DCG	体位ドレナージ	04:56
			3DCG：体位ドレナージ	02:21
体温調整の基礎知識		—		
創傷管理技術	包帯法（螺旋帯）		03:22	
	包帯法（蛇行帯）		03:29	
	包帯法（亀甲帯）		05:30	
	包帯法（麦穂帯）		03:48	
	包帯法（三角巾）		02:45	
	褥瘡の予防		—	
	褥瘡の予防－摩擦とずれ予防	側臥位でのポジショニング		02:12
		頭側挙上時のポジショニング		01:45
		車いす坐位時のポジショニング		02:26
	褥瘡処置		06:39	
創傷処置（サージカルテープとフィルムドレッシング材の貼り方、はがし方）		03:57		
与薬の技術	経口与薬		03:02	
	経皮与薬		01:44	
	口腔内与薬		00:42	
	点眼		01:37	
	点耳		02:12	
	点鼻		—	
	直腸内与薬		05:34	
	吸入法（定量噴霧式吸入器）		—	
	吸入法（ドライパウダー式吸入器）		02:18	
	簡易懸濁法		08:50	
	バイアル、アンプルからの薬剤の吸い上げ		04:17	

カテゴリ	テーマ名	動画再生時間	
与薬の技術	ミキシング、プライミング	ミキシング：輸液バッグの場合	01:10
		ミキシング：バッグ型キット製剤の場合	01:20
		ミキシング：高カロリー輸液バッグの場合	03:53
		プライミング	01:24
	皮下注射 <b>3DCG</b>	皮下注射	05:42
		3DCG：皮下注射	01:46
	筋肉内注射 <b>3DCG</b>	筋肉内注射	03:35
		3DCG：筋肉内注射	01:26
	皮内注射 <b>3DCG</b>	3DCG：皮内注射	01:14
	インスリン製剤の種類・用法と副作用		—
	インスリン注射（専用シリンジ）		03:10
	インスリン注射（ペン型）		06:30
	静脈内注射（静脈穿刺によるワンショット）		04:04
	点滴静脈内注射		07:00
	点滴静脈内注射の血管確保 <b>3DCG</b>	点滴静脈内注射の血管確保	05:44
		3DCG：点滴静脈内注射の血管確保	02:14
	生食ロック・ヘパリンロック		2月2日改訂
	静脈内注射（三方活栓からのワンショット）		04:20
	中心静脈カテーテル挿入の準備		—
	中心静脈カテーテル挿入の介助 <b>3DCG</b>	中心静脈カテーテル挿入の介助	05:45
		3DCG：中心静脈カテーテル挿入（内頸静脈からのアプローチ）	01:34
中心静脈カテーテル挿入患者の管理		—	
PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）挿入の準備		—	
PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）挿入の介助 <b>3DCG</b>	3DCG：PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）挿入	01:40	
PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）挿入患者の管理		06:16	
輸液ポンプの使用		06:40	
輸液ポンプの管理		—	
シリンジポンプの使用		03:55	
シリンジポンプの管理		—	
輸血の準備	輸血の準備（輸血指示の確認～輸血用血液製剤の受け取り）	04:58	
	輸血の準備（輸血用血液製剤と輸血セットの接続）	01:54	
輸血の実施		10:57	
輸血中と輸血後の観察		—	
麻薬の理解と管理		—	
特別な注意を要する薬剤の管理		—	
抗菌薬の用法の理解と副作用の観察		—	
抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察		—	
救命救急処置技術	意識レベルの把握	01:52	

カテゴリ	テーマ名		動画再生時間
救命救急処置技術	一次救命処置 (BLS) <b>3DCG</b>	一次救命処置 (BLS)	03:55
		3DCG : 胸骨圧迫	01:39
	バッグバルブマスクの使用法		02:53
	ジャクソンリリースの使用法		01:55
	AEDの使用法		01:31
	気管挿管の準備と介助 <b>3DCG</b>	気管挿管の準備と介助	03:30
		3DCG : 気管挿管	01:16
	止血法		01:10
	チームメンバーへの応援要請		02:10
症状・生体機能管理技術	脈拍測定		02:37
	動脈触知 (上肢)		02:42
	動脈触知 (下肢)		03:30
	動脈触知 (頭頸部)		01:41
	腋窩検温		03:43
	体温測定 (鼓膜)		01:14
	血圧測定		02:43
	血圧測定 (電子血圧計)		01:38
	血圧測定 (下肢)		02:51
	瞳孔の評価		—
	呼吸の観察と呼吸音の聴取	呼吸の観察	2月2日改訂
		呼吸音の聴取	03:34
	腹部の聴診		2月2日公開
	静脈血採血 (シリンジ採血) <b>3DCG</b>	翼状針の場合	06:38
		注射針の場合	06:23
		3DCG : 静脈血採血	00:56
	静脈血採血 (ホルダー採血) <b>3DCG</b>	翼状針の場合	05:47
		採血針の場合	05:15
		3DCG : 静脈血採血	00:56
	血液培養		08:28
	鼻咽頭ぬぐい液採取	鼻咽頭での検体採取	03:08
		鼻腔での検体採取	03:11
		咽頭での検体採取	03:13
	胃液採取		—
	採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い (一般検査、細菌検査)	一般検査 (患者が自己採取する場合)	01:39
		一般検査 (膀胱留置カテーテルからの採取)	02:49
		細菌検査 (患者が自己採取する場合)	02:09
		細菌検査 (膀胱留置カテーテルからの採取)	03:39
	採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い (蓄尿検査)		—
	喀痰採取		03:45
	喀痰採取 (吸引による)		05:35
動脈血採血の準備と検体の取り扱い		06:23	

カテゴリ	テーマ名	動画再生時間	
症状・生体機能管理技術	血糖値測定	03:08	
	心電図検査（12誘導心電計の装着と計測）	08:25	
	心電図モニタの装着と管理	04:36	
	パルスオキシメータによる測定	02:51	
	身長測定	02:27	
	体重測定	01:59	
	胸囲測定	02:27	
	腹囲測定（立位）	02:51	
	腹囲測定（臥位）	04:02	
苦痛の緩和・ 安楽確保の技術	安楽な体位の保持	01:19	
	冷電法	—	
	温電法	02:52	
	リラクゼーション法	—	
	精神的安寧を保つためのケア	—	
感染予防技術	標準予防策（スタンダードプリコーション）の考え方	—	
	手洗い	01:10	
	手指消毒	00:48	
	個人防護具の着脱	02:25	
	N95微粒子用マスクの着脱	01:04	
	滅菌手袋の装着	02:04	
	滅菌ガウンの着用	03:16	
	滅菌物の取り扱い	01:49	
	清潔野のつくりかた	—	
	感染性廃棄物の取り扱い	—	
	針刺し・切創・粘膜/創傷汚染予防策と発生後の対応	—	
	洗浄・消毒・滅菌	—	
安全確保の技術	誤薬防止	06:19	
	患者誤認防止策の実施（患者確認）	00:31	
	患者・部位・手技名の誤認防止（タイムアウト）	00:55	
	転倒・転落防止策	01:58	
	薬剤曝露の防止	—	
	放射線被ばくの防止	—	
	緊急やむを得ない場合の身体的拘束	拘束帯のベッドへの固定方法（肩・上肢・下肢拘束の場合）	00:46
		紐タイプの拘束帯の使用方法（上肢拘束の場合）	01:02
車いす使用時の身体的拘束	—		
死亡時のケア	死後のケア	—	